

苫小牧港カーボンニュートラルポート検討会

開催趣旨について

一昨年 10 月、我が国は 2050 年カーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言し、カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略において、「カーボンニュートラルポートの形成」に取り組むことが示された。

我が国の輸出入の 99.6%を取り扱う物流拠点であり、かつ我が国の CO2 排出量の約 6 割を占める産業の多くが立地する港湾地域において、脱炭素化に向けた先導的な取り組みを集中的に行うことは、我が国の 2050 年カーボンニュートラルの実現に効果的・効率的であると考えられる。

苫小牧港は国内第 4 位の海上取扱貨物量を扱うとともに、その背後地に広大な工業団地を有し、エネルギー関連産業をはじめとする多くの企業が立地する国際拠点港湾である。

このような環境下にある苫小牧港において、カーボンニュートラルポートの形成を推し進めることは、北海道はもとより我が国のカーボンニュートラルの実現に向け重要であるとの認識から、「苫小牧港カーボンニュートラルポート形成計画」策定に向けた検討会を開催するものである。